

授業科目

児童家庭福祉論II

担当教員名 藤沢 直子	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

児童や家庭に対する様々な福祉支援についての関係法令や制度を学び、児童家庭福祉の現状と課題を総合的に学習する。

授業の目的

社会や家族のあり方が大きく変化し、多様な生活ストレスを背景に児童虐待等の子どもをめぐる問題が噴出している。少子高齢化が進む現代における社会福祉士として、児童や家庭に対する支援と福祉諸制度について体系的な知識を習得することを通じ、子育て環境や地域社会とのつながりを視野に入れながら、将来を担うすべての子どもたちの健やかな成長を支える視点を内在化することを目的とする。

学習目標

1. 児童福祉の理念と歴史について理解する。
2. 現代社会と児童家庭福祉のニーズについて理解する。
3. 子どもを健やかに生み育てる環境について理解する。
4. 児童家庭福祉に関する法制度や支援の実際について理解する。
5. 児童家庭福祉に関する専門機関、専門職種役割と連携について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	児童家庭福祉に関する法制度（1）	講義	藤沢 直子
2	児童家庭福祉に関する法制度（2）	講義	藤沢 直子
3	児童家庭福祉に関する法制度（3）	講義	藤沢 直子
4	児童家庭福祉制度における国及び市町村の役割	講義	藤沢 直子
5	児童家庭福祉制度における都道府県及び児童相談所の役割（1）	講義	藤沢 直子
6	児童家庭福祉制度における都道府県及び児童相談所の役割（2）	講義	藤沢 直子
7	児童家庭福祉制度における児童委員及び家庭裁判所の役割	講義	藤沢 直子
8	要保護児童対策協議会による援助の実際	講義	藤沢 直子
9	児童養護施設による支援	講義	藤沢 直子
10	保育所による支援	講義	藤沢 直子
11	障害児の在宅支援	講義	藤沢 直子
12	里親による支援	講義	藤沢 直子
13	地域子ども・子育て支援	講義	藤沢 直子
14	次世代育成支援	講義	藤沢 直子
15	まとめ	講義	藤沢 直子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	第5巻「児童家庭福祉論」児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	「社会福祉学習双書」編集委員会	全国社会福祉協議会	2017年		最新版
	社会福祉小六法2017	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	2017年		
参考書	必要に応じて紹介する					
その他の資料	必要の都度配布する					

評価方法

1.レポート又は小テスト 2.定期試験により評価する。

履修上の留意点

社会福祉士国家試験指定科目（専門科目）であるので、目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。

オフィスアワー・連絡先

1 研究室 E309

2 連絡方法 naoko-fujisawa@nuhw.ac.jp あてにメールをお願いします。